中小企業景況レポート

No.31　中栄信用金庫　地域支援部

2019年4月～6月実績と2019年7月～9月見込み

◆調査概要

調査時期	2019 年 6 月上旬
調査地域	秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
調査企業数	346 社
回答企業数	331 社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	97	92	94.8
卸売業	29	28	96.5
小売・飲食業	62	58	93.5
サービス業	55	53	96.3
建設業	66	63	95.4
不動産業	37	37	100.0
合　計	346	331	95.6

◆4月～6月期の概況

～業況判断 D.I. は小幅悪化、先行きは更なる悪化～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は 0.9 を示し、前回調査（2019 年 1 ～ 3 月期）に比べ 0.7 ポイントの小幅悪化となりました。

これは海外情勢の不透明感や消費増税の影響への懸念に加え、建設関連では、慢性的な人手不足が、新規受注の抑制要因となっていることから、売上額 D.I. は 0.6 ポイント小幅悪化の▲3.0 に至り、景況感は 2 期連続の悪化となっております。また一部では、資材不足等による仕入価格の高止まりが続いていることに加え、人件費や物流費などの負担感も増していることから、厳しい収益環境がうかがえます。

さらに、特別調査においては、働き方改革に向けた今後の対応策として、約 3 割の企業が、「長時間労働の是正」や「賃金引き上げと労働生産性の向上」を挙げる中、労働環境の改善に努める企業が見受けられるとともに、ITツールの活用や機械設備の導入により、自動化・省力化に努める企業もみられます。

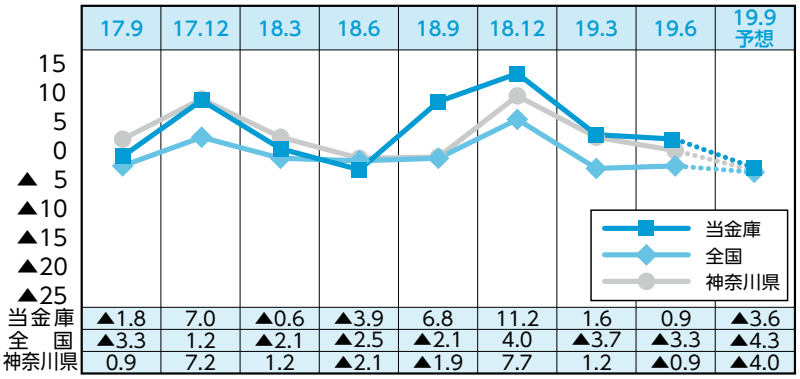
項目別にみると、売上実績 D.I. は 0.6 ポイント小幅悪化の▲3.0、収益実績 D.I. は 3.1 ポイント改善の▲3.0 となっております。また、仕入価格 D.I. は 1.2 ポイント上昇の 26.3、人手過不足 D.I. は 0.6 ポイント不足感が弱まり▲36.6、資金繰り D.I. はほぼ横ばいの▲13.9 となっております。また業種別の景況感は、サービス業が 22.6 ポイント改善の▲1.9、不動産業が 16.2 ポイント改善の 18.9、製造業が 3.0 ポイント悪化の 8.9、小売・飲食業が 10.0 ポイント悪化の▲20.7、卸売業が 10.3 ポイント悪化の▲21.4、建設業が 12.9 ポイント悪化の 11.3 となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. はほぼ横ばいの▲3.3、神奈川県内については 2.1 ポイント悪化の▲0.9 となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆7月～9月期の見通し

来期の業況判断予想は、4.5 ポイント悪化の▲3.6、売上額 D.I. は 6.0 ポイント改善の 3.0、収益 D.I. は 2.1 ポイント改善の▲0.9 の予想となっております。

業況判断D.I. 値（全業種）



	17.9	17.12	18.3	18.6	18.9	18.12	19.3	19.6	19.9 予想
当金庫	▲1.8	7.0	▲0.6	▲3.9	6.8	11.2	1.6	0.9	▲3.6
全　国	▲3.3	1.2	▲2.1	▲2.5	▲2.1	4.0	▲3.7	▲3.3	▲4.3
神奈川県	0.9	7.2	1.2	▲2.1	▲1.9	7.7	1.2	▲0.9	▲4.0

全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約 16,000（うち神奈川県 約 480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前　期	今　期	予　想
総　合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 良い ← → 低調 悪い

製 造 業

●概　況

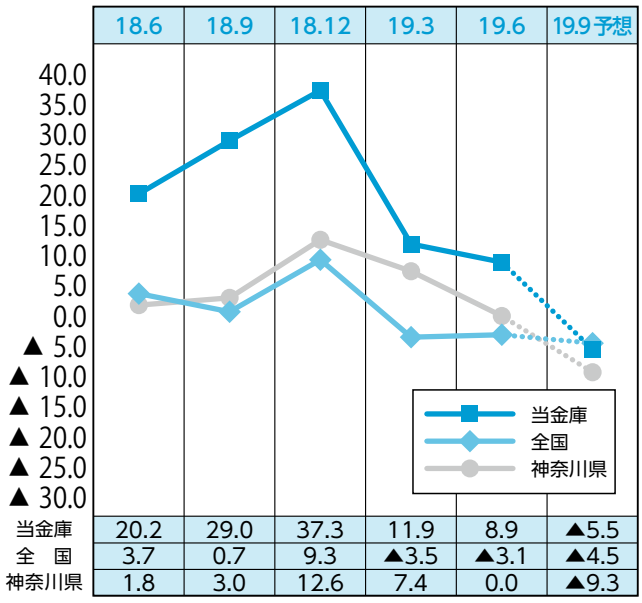
製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 3.0 ポイント悪化の 8.9 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 2.2 ポイント悪化の 3.2、収益 D.I. は 6.4 ポイント改善の 1.0 となっております。

海外情勢の不透明感を背景とした受注の伸び悩みに加え、一部では 10 連休に伴う稼働日数の減少により、売上の落ち込みがみられたことから、景況感は小幅悪化となっております。また、人件費や物流費等の負担感が増す中、外注費削減、短納期化に向け、機械設備の導入により内製化を進める動きや新製品・技術開発への注力により、競争力強化に努める動きもみられます。

なお、全国はほぼ横ばいの▲3.1 となっており、神奈川県は 7.4 ポイント悪化の 0.0 となっております。

来期の予想業況判断については、14.4 ポイント悪化の▲5.5 となっております。

●業況判断 D.I. 値



	18.6	18.9	18.12	19.3	19.6	19.9予想
当金庫	20.2	29.0	37.3	11.9	8.9	▲5.5
全　国	3.7	0.7	9.3	▲3.5	▲3.1	▲4.5
神奈川県	1.8	3.0	12.6	7.4	0.0	▲9.3

売上額

				D.I.
前期実績	33.6	38.2	28.2	5.4
当期実績	26.0	51.2	22.8	3.2
来期予想	18.4	59.9	21.7	▲3.3
前年同期比	35.8	32.7	31.5	4.3

収益

				D.I.
前期実績	25.0	44.6	30.4	▲5.4
当期実績	26.0	49.0	25.0	1.0
来期予想	16.3	62.0	21.7	▲5.4
前年同期比	31.5	33.8	34.7	▲3.2

販売価格

				D.I.
前期実績	8.6	82.8	8.6	0.0
当期実績	4.3	91.4	4.3	0.0
来期予想	4.3	86.0	9.7	▲5.4

原材料価格

				D.I.
前期実績	31.5	66.4	2.1	29.4
当期実績	25.0	74.0	1.0	24.0
来期予想	25.0	71.8	3.2	21.8

在庫

				D.I.
前期実績	8.6	87.1	4.3	4.3
当期実績	8.6	87.1	4.3	4.3
来期予想	9.7	87.1	3.2	6.5

資金繰り

				D.I.
前期実績	18.4	59.9	21.7	▲3.3
当期実績	7.6	78.3	14.1	▲6.5
来期予想	8.6	74.1	17.3	▲8.7

人手

				D.I.
前期実績	3.2	52.3	44.5	▲41.3
当期実績	7.6	54.4	38.0	▲30.4
来期予想	7.6	53.3	39.1	▲31.5

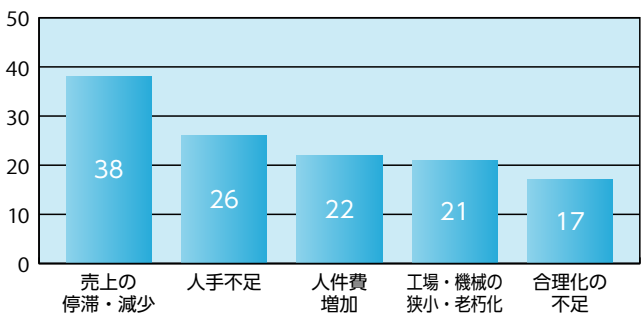
設備状況

				D.I.
前期実績	1.1	67.9	31.0	▲29.9
当期実績	3.3	70.1	26.6	▲23.3
来期予想	5.8	71.0	23.2	▲17.4

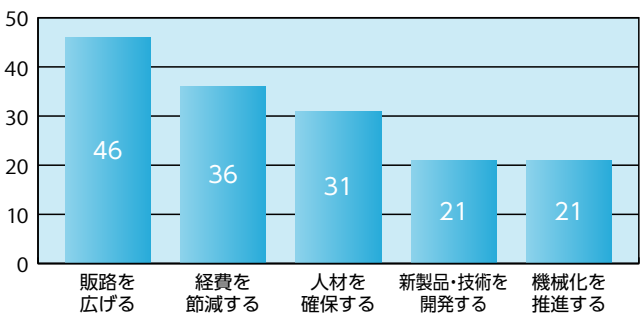
当期実績…2019 年　4～　6 月期
来期予想…2019 年　7～　9 月期

良い、増加、上昇 過剰、楽　／　普通、変わらず 適正　／　悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



卸 売 業

●概　況

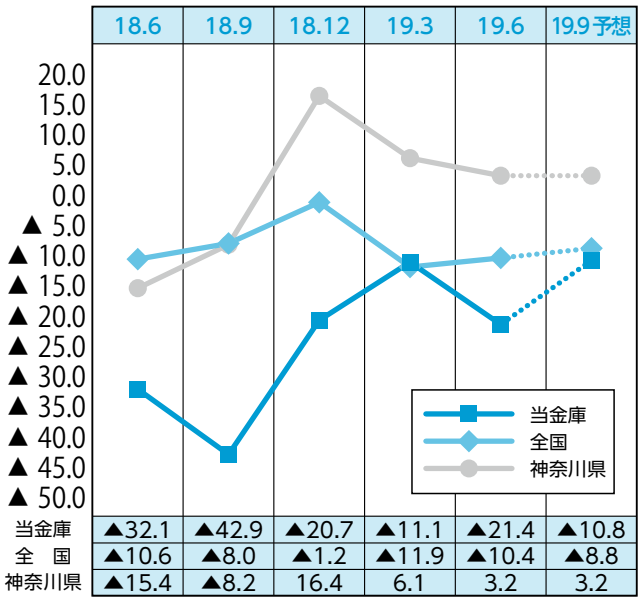
卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 10.3 ポイント悪化の▲21.4 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 10.0 ポイント悪化の▲28.5、収益 D.I. は 6.5 ポイント悪化の▲25.0 となっております。

これは建設業における業況悪化を背景に、建材卸において売上減少となったほか、食品卸や建材卸を中心に、経営上の問題点として、仕入先からの値上げ要請を挙げており、仕入価格の高止まりや人件費上昇等の厳しい収益環境がうかがえることから、景況感は悪化となっております。また一部企業においては、在庫管理の適正化、業務効率化に向けたシステム導入を検討する動きもみられます。

なお、全国は 1.5 ポイント小幅改善の▲10.4 となっており、神奈川県は 2.9 ポイント悪化の 3.2 となっております。

来期の予想業況判断については、10.6 ポイント改善の▲10.8 となっております。

●業況判断 D.I. 値



	18.6	18.9	18.12	19.3	19.6	19.9予想
当金庫	▲32.1	▲42.9	▲20.7	▲11.1	▲21.4	▲10.8
全　国	▲10.6	▲8.0	▲1.2	▲11.9	▲10.4	▲8.8
神奈川県	▲15.4	▲8.2	16.4	6.1	3.2	3.2

売上額

	良い・増加・上昇 過剰・楽	普通・変わらず 適正	悪い・減少・下降 不足・苦しい	D.I.
前期実績	18.5	44.5	37.0	▲18.5
当期実績	10.7	50.1	39.2	▲28.5
来期予想	21.4	60.8	17.8	3.6
前年同期比	29.6	37.1	33.3	▲3.7

収益

	良い・増加・上昇 過剰・楽	普通・変わらず 適正	悪い・減少・下降 不足・苦しい	D.I.
前期実績	14.8	51.9	33.3	▲18.5
当期実績	7.1	60.8	32.1	▲25.0
来期予想	7.1	75.1	17.8	▲10.7
前年同期比	25.9	44.5	29.6	▲3.7

販売価格

	良い・増加・上昇 過剰・楽	普通・変わらず 適正	悪い・減少・下降 不足・苦しい	D.I.
前期実績	22.2	66.7	11.1	11.1
当期実績	10.7	89.3		10.7
来期予想	7.1	89.4	3.5	3.6

仕入価格

	良い・増加・上昇 過剰・楽	普通・変わらず 適正	悪い・減少・下降 不足・苦しい	D.I.
前期実績	40.7	51.9	7.4	33.3
当期実績	42.8	50.1	7.1	35.7
来期予想	25.0	64.3	10.7	14.3

在庫

	良い・増加・上昇 過剰・楽	普通・変わらず 適正	悪い・減少・下降 不足・苦しい	D.I.
前期実績	11.1	81.5	7.4	3.7
当期実績	10.7	82.2	7.1	3.6
来期予想	14.2	78.7	7.1	7.1

資金繰り

	良い・増加・上昇 過剰・楽	普通・変わらず 適正	悪い・減少・下降 不足・苦しい	D.I.
前期実績	11.1	59.3	29.6	▲18.5
当期実績	7.1	64.4	28.5	▲21.4
来期予想	7.1	60.8	32.1	▲25.0

人手

	良い・増加・上昇 過剰・楽	普通・変わらず 適正	悪い・減少・下降 不足・苦しい	D.I.
前期実績	7.4	48.2	44.4	▲37.0
当期実績	3.5	64.4	32.1	▲28.6
来期予想	3.5	64.4	32.1	▲28.6

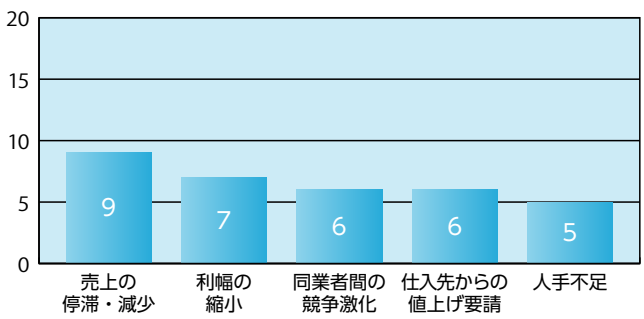
設備状況

	良い・増加・上昇 過剰・楽	普通・変わらず 適正	悪い・減少・下降 不足・苦しい	D.I.
前期実績	3.7	81.5	14.8	▲11.1
当期実績		89.3	10.7	▲10.7
来期予想		92.9	7.1	▲7.1

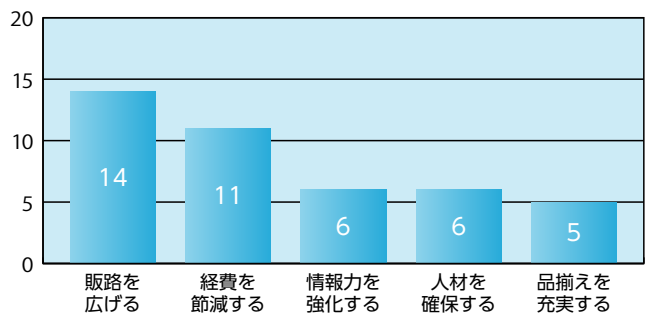
当期実績…2019 年　4～　6月期
来期予想…2019 年　7～　9月期

良い、増加、上昇 過剰、楽　／　普通、変わらず 適正　／　悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



小売・飲食業

●概　況

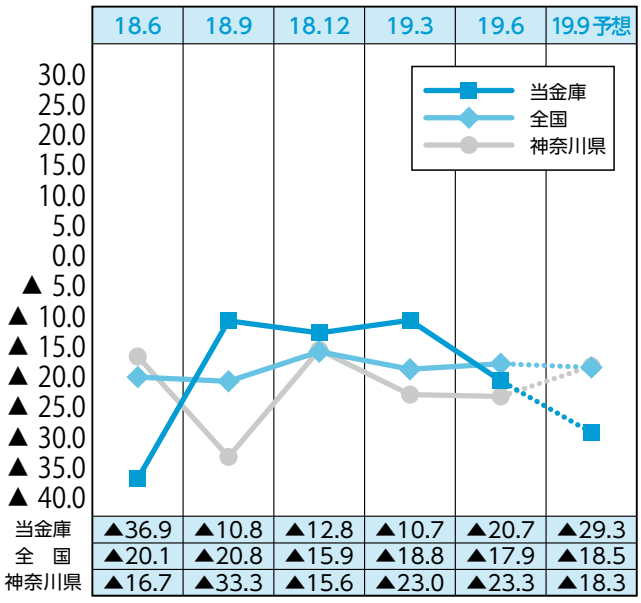
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査から 10.0 ポイント悪化の▲20.7 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 7.5 ポイント悪化の▲25.0、収益 D.I. は 1.6 ポイント改善の▲12.5 となっております。

人手過不足 D.I. は、▲35.1 と、7.1 ポイント不足感が強まる中、人件費や原材料費上昇分の価格転嫁に苦慮する様子もみられることに加え、食料品小売業や飲食業を中心に、梅雨の影響による客足の減少を懸念する企業もみられることから、景況感は悪化となっております。また一部企業においては、地域の需要喚起策として募集されているプレミアム付商品券の取扱店登録を行い、売上増加、認知度向上に努める動きも見受けられます。

なお、全国は 0.9 ポイント小幅改善の▲17.9 となっており、神奈川県はほぼ横ばいの▲23.3 となっております。

来期の予想業況判断については、8.6 ポイント悪化の▲29.3 となっております。

●業況判断 D.I. 値



	18.6	18.9	18.12	19.3	19.6	19.9予想
当金庫	▲36.9	▲10.8	▲12.8	▲10.7	▲20.7	▲29.3
全　国	▲20.1	▲20.8	▲15.9	▲18.8	▲17.9	▲18.5
神奈川県	▲16.7	▲33.3	▲15.6	▲23.0	▲23.3	▲18.3

売上額

				D.I.
前期実績	21.0	40.5	38.5	▲17.5
当期実績	19.6	35.8	44.6	▲25.0
来期予想	19.2	47.5	33.3	▲14.1
前年同期比	19.6	34.0	46.4	▲26.8

収益

				D.I.
前期実績	19.2	47.5	33.3	▲14.1
当期実績	23.2	41.1	35.7	▲12.5
来期予想	19.2	52.8	28.0	▲8.8
前年同期比	10.7	51.8	37.5	▲26.8

販売価格

				D.I.
前期実績	10.5	82.5	7.0	3.5
当期実績	14.2	76.9	8.9	5.3
来期予想	22.8	73.7	3.5	19.3

仕入価格

				D.I.
前期実績	28.0	68.5	3.5	24.5
当期実績	26.7	68.0	5.3	21.4
来期予想	23.2	73.3	3.5	19.7

在庫

				D.I.
前期実績	8.7	84.3	7.0	1.7
当期実績	10.7	82.2	7.1	3.6
来期予想	12.2	84.3	3.5	8.7

資金繰り

				D.I.
前期実績	10.5	56.2	33.3	▲22.8
当期実績	10.7	59.0	30.3	▲19.6
来期予想	5.2	65.0	29.8	▲24.6

人手

				D.I.
前期実績	7.0	58.0	35.0	▲28.0
当期実績	5.2	54.5	40.3	▲35.1
来期予想	5.2	54.5	40.3	▲35.1

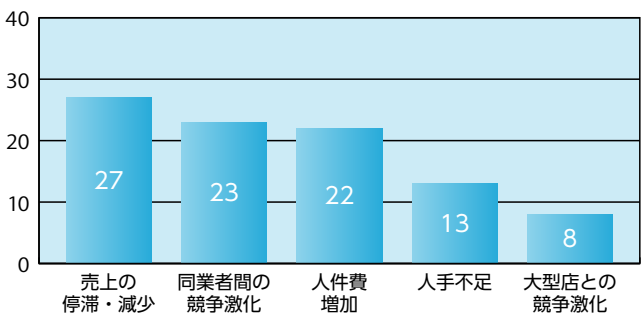
設備状況

				D.I.
前期実績	1.7	86.1	12.2	▲10.5
当期実績	3.5	84.0	12.5	▲9.0
来期予想	3.5	80.5	16.0	▲12.5

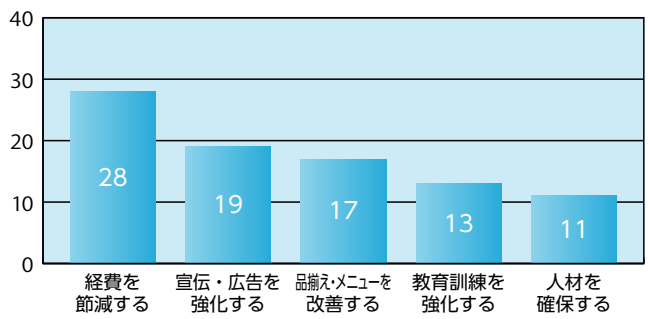
当期実績…2019 年　4～　6月期
来期予想…2019 年　7～　9月期

良い、増加、上昇 過剰、楽　／　普通、変わらず 適正　／　悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



サービス業

●概　況

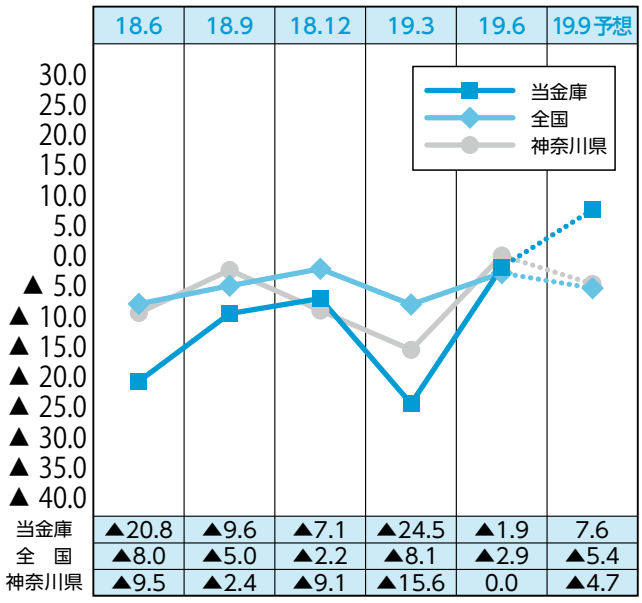
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 22.6 ポイント改善の▲1.9 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 15.1 ポイント改善の 1.9、収益 D.I. は 11.4 ポイント改善の▲7.5 となっております。

これは運送業を中心とした売上増加に加え、一部企業においては、新たな介護サービスの展開に伴う利用者の確保や 10 連休に伴う旅館業での稼働率向上がみられたことから、料金価格 D.I. は 9.6 ポイント上昇の 5.8 となり、景況感は改善となっております。また一部企業では、人手不足対策として、労働環境の整備により、離職率の低下に努める動きも見受けられます。

なお、全国は 5.2 ポイント改善の▲2.9 となっており、神奈川県は 15.6 ポイント改善の 0.0 となっております。

来期の予想業況判断については、9.5 ポイント改善の 7.6 となっております。

●業況判断 D.I. 値



	18.6	18.9	18.12	19.3	19.6	19.9予想
当金庫	▲20.8	▲9.6	▲7.1	▲24.5	▲1.9	7.6
全　国	▲8.0	▲5.0	▲2.2	▲8.1	▲2.9	▲5.4
神奈川県	▲9.5	▲2.4	▲9.1	▲15.6	0.0	▲4.7

売上額

				D.I.
前期実績	22.6	41.6	35.8	▲13.2
当期実績	37.7	26.5	35.8	1.9
来期予想	39.6	39.7	20.7	18.9
前年同期比	37.7	32.2	30.1	7.6

収益

				D.I.
前期実績	16.9	47.3	35.8	▲18.9
当期実績	28.3	35.9	35.8	▲7.5
来期予想	33.9	41.6	24.5	9.4
前年同期比	30.1	32.2	37.7	▲7.6

料金価格

				D.I.
前期実績	9.6	77.0	13.4	▲3.8
当期実績	9.6	86.6	3.8	5.8
来期予想	13.4	80.9	5.7	7.7

材料価格

				D.I.
前期実績	25.0	73.1	1.9	23.1
当期実績	32.6	65.5	1.9	30.7
来期予想	26.9	69.3	3.8	23.1

資金繰り

				D.I.
前期実績	3.8	61.6	34.6	▲30.8
当期実績	5.6	60.5	33.9	▲28.3
来期予想	7.6	61.7	30.7	▲23.1

人手

				D.I.
前期実績	11.3	47.2	41.5	▲30.2
当期実績	5.6	43.5	50.9	▲45.3
来期予想	7.5	49.2	43.3	▲35.8

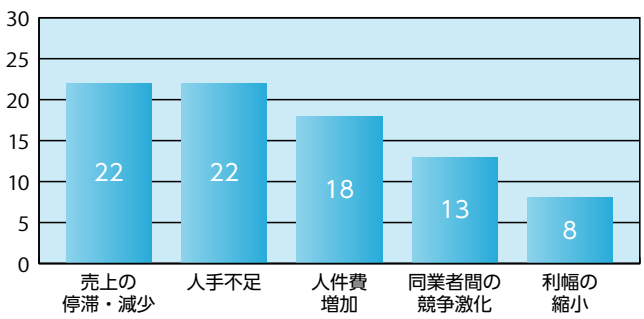
設備状況

				D.I.
前期実績	5.6	69.9	24.5	▲18.9
当期実績	1.9	77.0	21.1	▲19.2
来期予想	3.9	72.6	23.5	▲19.6

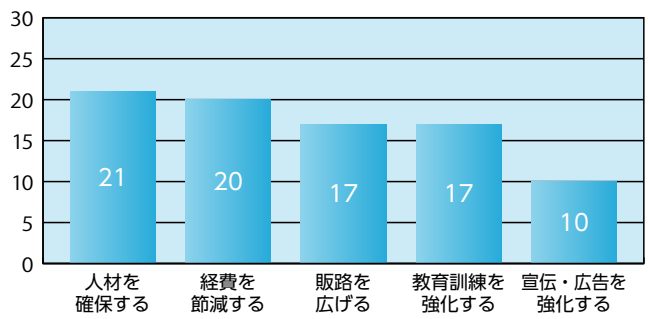
当期実績…2019 年　4～　6 月期
来期予想…2019 年　7～　9 月期

良い、増加、上昇 過剰、楽　／　普通、変わらず 適正　／　悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



建 設 業

●概　況

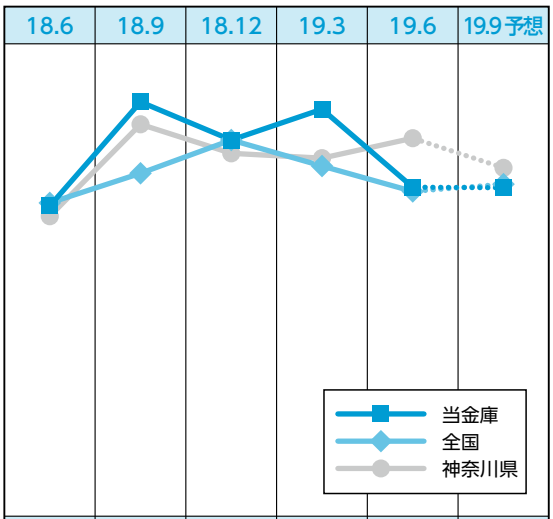
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 12.9 ポイント悪化の 11.3 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 5.0 ポイント悪化の 9.5、収益 D.I. は 14.5 ポイント悪化の▲1.6 となっております。

深刻な人手不足に伴い受注を見送らざるをえない企業もみられるとともに、天候不順や建設資材不足の影響により、工期遅れが生じている企業も見受けられることから、売上額・収益 D.I. は悪化となり、景況感は悪化に至っております。また人手不足で採用が困難な中、外国人労働者の受入れを検討する企業が見受けられるとともに、仕事の幅を広げるため、施工力の向上に努める企業も見受けられます。

全国は 4.2 ポイント悪化の 10.6 となっており、神奈川県は 3.3 ポイント改善の 19.4 となっております。

来期の予想業況判断については、ほぼ横ばいの 11.2 となっております。

●業況判断 D.I. 値



	18.6	18.9	18.12	19.3	19.6	19.9予想
当金庫	8.2	25.4	19.1	24.2	11.3	11.2
全　国	8.7	13.6	19.1	14.8	10.6	11.8
神奈川県	6.5	21.7	16.9	16.1	19.4	14.5

売上額

				D.I.
前期実績	37.0	40.5	22.5	14.5
当期実績	33.3	42.9	23.8	9.5
来期予想	28.5	55.7	15.8	12.7
前年同期比	38.0	31.9	30.1	7.9

収益

				D.I.
前期実績	29.0	54.9	16.1	12.9
当期実績	22.2	54.0	23.8	▲1.6
来期予想	22.2	57.2	20.6	1.6
前年同期比	26.9	43.0	30.1	▲3.2

請負価格

				D.I.
前期実績	16.1	74.3	9.6	6.5
当期実績	9.5	79.4	11.1	▲1.6
来期予想	12.6	76.3	11.1	1.5

材料価格

			D.I.
前期実績	30.6	69.4	30.6
当期実績	38.7	61.3	38.7
来期予想	38.7	61.3	38.7

在庫

				D.I.
前期実績	4.9	93.5	1.6	3.3
当期実績	3.2	93.6	3.2	0.0
来期予想	3.2	92.0	4.8	▲1.6

資金繰り

				D.I.
前期実績	12.9	61.3	25.8	▲12.9
当期実績	11.1	66.7	22.2	▲11.1
来期予想	9.5	73.1	17.4	▲7.9

人手

				D.I.
前期実績	45.2		54.8	▲54.8
当期実績	3.2	41.1	55.7	▲52.5
来期予想	3.2	38.8	58.0	▲54.8

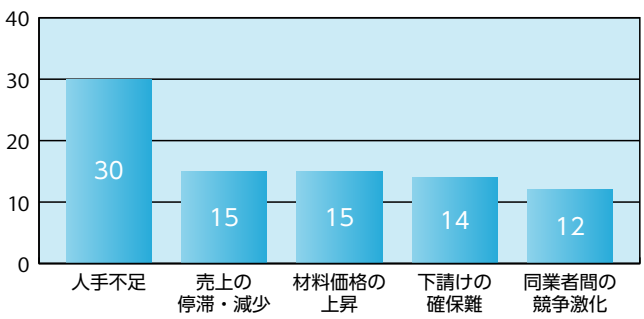
設備状況

				D.I.
前期実績		93.3	6.7	▲6.7
当期実績	1.6	88.6	9.8	▲8.2
来期予想	1.6	88.4	10.0	▲8.4

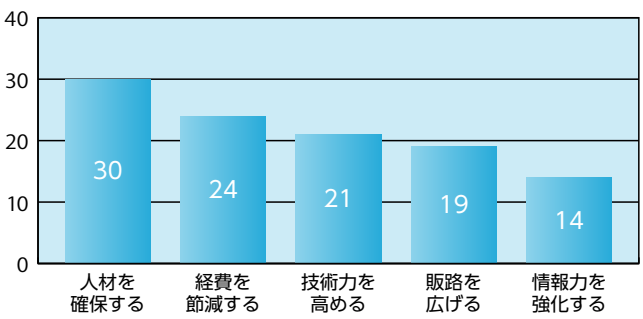
当期実績…2019 年　4～　6 月期
来期予想…2019 年　7～　9 月期

良い、増加、上昇 過剰、楽　／　普通、変わらず 適正　／　悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



不動産業

●概　況

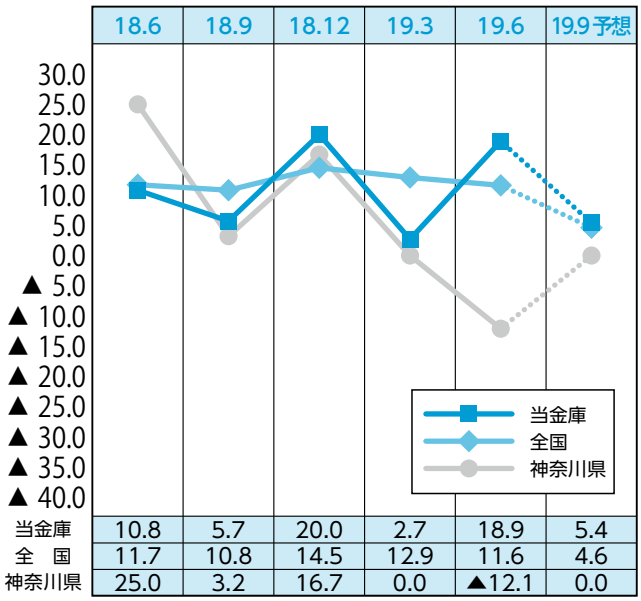
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 16.2 ポイント改善の 18.9 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 5.4 ポイント改善の 5.4、収益 D.I. は 21.6 ポイント改善の 21.6 となっております。

一部企業においては、消費増税前の駆け込み需要の影響がみられたことに加え、広告・宣伝等の販売強化により、商品物件の販売に動きがみられたことから、売上額・収益 D.I. はプラス域に転じ、景況感は改善に至っております。一方、今後の需要動向を見据え、早期売却に向けた販売価格の引き下げを検討する企業も見受けられることから、今後の収益環境は悪化の予想となっております。

全国は 1.3 ポイント小幅悪化の 11.6 となっており、神奈川県は 12.1 ポイント悪化の▲12.1 となっております。

来期の予想業況判断については、13.5 ポイント悪化の 5.4 となっております。

●業況判断 D.I. 値



	18.6	18.9	18.12	19.3	19.6	19.9予想
当金庫	10.8	5.7	20.0	2.7	18.9	5.4
全　国	11.7	10.8	14.5	12.9	11.6	4.6
神奈川県	25.0	3.2	16.7	0.0	▲12.1	0.0

売上額

				D.I.
前期実績	18.9	62.2	18.9	0.0
当期実績	27.0	51.4	21.6	5.4
来期予想	27.0	51.4	21.6	5.4
前年同期比	29.7	51.4	18.9	10.8

収益

				D.I.
前期実績	16.2	67.6	16.2	0.0
当期実績	35.1	51.4	13.5	21.6
来期予想	29.7	51.4	18.9	10.8
前年同期比	27.0	54.1	18.9	8.1

販売価格

				D.I.
前期実績	2.7	83.8	13.5	▲10.8
当期実績	8.1	81.1	10.8	▲2.7
来期予想	5.4	86.5	8.1	▲2.7

仕入価格

				D.I.
前期実績	8.1	86.5	5.4	2.7
当期実績	10.8	83.8	5.4	5.4
来期予想	10.8	83.8	5.4	5.4

在庫

				D.I.
前期実績	5.4	51.4	43.2	▲37.8
当期実績	2.7	62.2	35.1	▲32.4
来期予想	8.1	43.3	48.6	▲40.5

資金繰り

				D.I.
前期実績	5.4	89.2	5.4	0.0
当期実績	5.4	86.5	8.1	▲2.7
来期予想	5.4	89.2	5.4	0.0

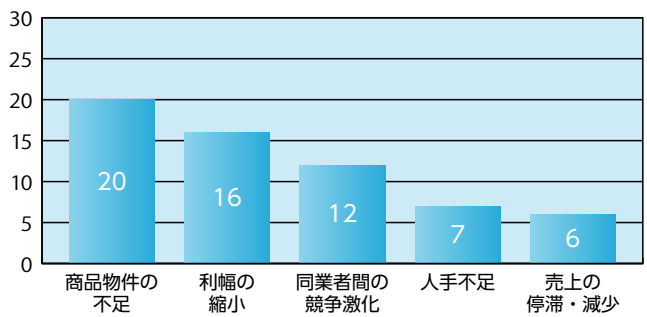
人手

			D.I.
前期実績	78.4	21.6	▲21.6
当期実績	78.4	21.6	▲21.6
来期予想	67.6	32.4	▲32.4

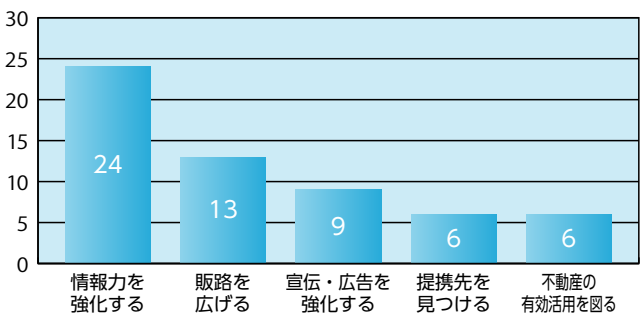
当期実績…2019 年　4～　6月期
来期予想…2019 年　7～　9月期

良い、増加、上昇 過剰、楽　／　普通、変わらず 適正　／　悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



特別調査「中小企業における人手不足の状況と働き方改革への対応について」

当金庫のお客様346社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問1．貴社では、最近顕在化しつつある人手不足の状況をどのように認識していますか。あてはまるものを1つ選んでお答えください。

人手不足		適正		人手過剰	
○	現場作業関係……137社	○	適正……129社	○	現場作業関係……6社
○	営業・販売関係……48社			○	営業・販売関係……1社
○	経理・財務・管理関係……6社			○	経理・財務・管理関係……0社
○	その他の職種……3社			○	その他の職種……0社

問2．貴社では、人手不足で採用が困難になりつつあるなか、女性、高齢者、外国人の活躍推進それぞれについて、今後、どのようにお考えですか。1つずつ選んでお答えください。

女性の活躍		高齢者の活躍		外国人の活躍	
○	増やす方針……78社	○	増やす方針……41社	○	増やす方針……27社
○	どちらともいえない……244社	○	どちらともいえない……266社	○	どちらともいえない……270社
○	減らす方針……4社	○	減らす方針……16社	○	減らす方針……16社

問3．2019年4月より施行された改正出入国管理法を受けて、外国人労働者の受入れ拡大が見込まれています。こうしたなか、貴社では外国人労働者を採用（予定を含む。）していますか。1つ選んでお答えください。

採用（予定を含む）の理由		採用していない理由	
○	日本人を採用できなかったため……26社	○	そもそも人手が足りている……100社
○	優秀な人材だったため……21社	○	外国人採用にメリットを感じない……72社
○	外国人顧客の増加への対応……2社	○	文化・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ（日本語）への対応が困難…57社
○	海外進出の足がかり……1社	○	情報不足でよくわからない……35社
○	将来の後継者候補……0社	○	法律や行政手続きへの対応が困難……9社

問4．貴社では、働き方改革が求めている「時間外労働の上限規制」や「有給休暇取得の義務化」による影響を受けますか。1つ選んでお答えください。

影響を受ける			
○	従業員への処遇・待遇の改善……35社	○	対応できない……12社
○	勤怠管理の徹底……28社	○	受注の取捨選択・業務の再構築や縮小……11社
○	設備投資・IT化による業務効率化……16社	○	経営者や管理職のカバーにより代替……7社
○	従業員の再教育……14社	○	取引先への協力要請……5社
○	影響は受けない……117社	○	影響があるかどうかよくわからない……86社

問5．働き方改革に何らかの対応をしていかなければならないなか、現在既に取り組んでいる事項あるいは今後優先的に取り組みたい事項は何ですか。3つ以内で選んでお答えください。

○	長時間労働の是正（残業規制、有休義務化）…119社	○	外国人材の受入れ……26社
○	賃金引き上げと労働生産性の向上……104社	○	同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善…25社
○	何をやればよいのかわからない……97社	○	病気の治療、子育て・介護と仕事の両立…17社
○	女性・若者が活躍しやすい環境整備……78社	○	テレワーク、副業・兼業など柔軟な働き方…10社
○	高齢者の就業促進……33社	○	柔軟な転職支援、格差是正のための人材育成…6社

ふるさと納税セミナーを開催します！

日時	令和元年8月28日（水）14:30～16:30
場所	なかしんホール 秦野市尾尻943-1
募集対象者	登録を検討されている事業者 ふるさと納税返礼品登録事業者
定員	30名
参加費	無料
内容	・今年度改正されたふるさと納税のポイント ・ふるさと納税の登録状況や登録時の注意点 ・返礼品の魅力を最大限に引き出す写真の撮り方や心に残るキャッチコピーのつけ方

詳しくは、当金庫ホームページまたはお近くの営業店までお問い合わせください。

当金庫では、秦野市と協働でふるさと納税登録事業者および登録希望者を対象にした「ふるさと納税返礼品魅力ＵＰセミナー」を開催します。

こちらのセミナーは、登録事業者の売上増加に向け、ふるさと納税のポイントや魅力ＵＰのための写真の撮り方などを伝授するセミナーとなっております。

ふるさと納税セミナーの様子